

国立研究開発法人国立環境研究所運営費交付金（うち、衛星関連事業経費）



【令和7年度要求額 1,658百万円（1,588百万円）】

「GOSATシリーズ」から送られるデータを処理、各国の政府機関・研究者等に提供することにより、2050年カーボンニュートラルやパリ協定／グローバルストックテイクに貢献します。

1. 事業目的

- ① GOSATシリーズの観測データから温室効果ガスの濃度等の高次プロダクトを定常的に作成する。
- ② 作成されたGOSATシリーズのプロダクトの長期保存や各国のインベントリ担当者／研究者への提供を行う。

2. 事業内容

温室効果ガス観測技術衛星（GOSAT）シリーズは、環境省・宇宙航空研究開発機構（JAXA）・国立環境研究所（NIES）の共同プロジェクトです。1号機（GOSAT「愛称：いぶき」、平成21年打上げ）・2号機（GOSAT-2、平成30年打上げ）の15年以上にわたる地球全体の温室効果ガスデータはIPCCの第6次評価報告書や各国の温室効果ガス排出量の検証に用いられており、我が国の2050年カーボンニュートラルやパリ協定への重要な貢献といえます。

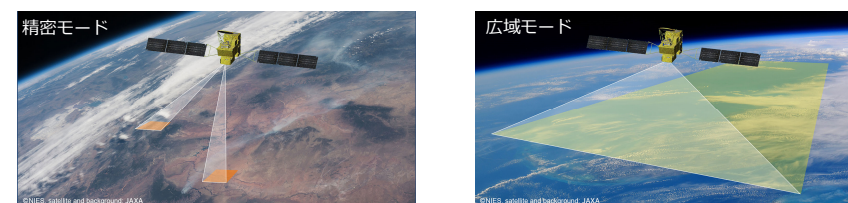
本事業ではGOSATシリーズのデータから温室効果ガスの濃度などのプロダクトを定常的に作成し、各国の担当者・研究者に提供するための地上データ処理システムの開発や運用を行います。特に令和7年度には3号機（GOSAT-GW、令和6年度打上げ予定）用システムの運用準備や初期運用などを、1号機・2号機用システムの定常的な運用／維持管理とともに実施します。さらに民間との協力も含む情報公開機能の強化に新たに取り組めます。

3. 事業スキーム

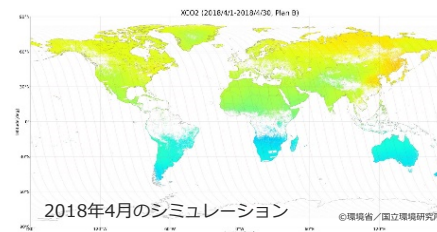
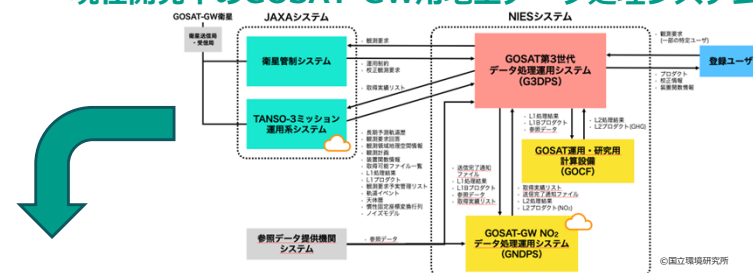
- 事業形態 交付金
- 交付対象 研究機関（国立環境研究所）
- 実施期間 平成16年度～

4. 事業イメージ

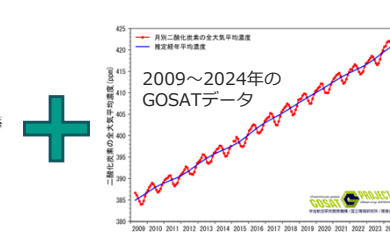
GOSAT-GWによる温室効果ガス濃度のマッピング



現在開発中のGOSAT-GW用地上データ処理システム



GOSAT-GWの全球マッピング



GOSAT、GOSAT-2の長期データ